



清水町では、町ぐるみで子どもたちを育てていくコミュニティ・スクールが進められています。修了式・終業式そして卒園式や卒業式で各保育・教育現場では、子どもたちの節目の時期にあたり、心の発達や体調管理に充分注意をはらいながら丁寧に活動を進めています。

この一年間の地域の方々の関りに感謝を申し上げますとともに、引き続き子どもたちの成長を支えていただくためご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今月号においても地域の方々と子どもたちの関わりを中心に、その様子をお伝えいたします。

しみず認定こども園

「みんな大好き十勝若牛ハンバーグ」

1月26日JA十勝清水町様からのご厚意で、十勝若牛ハンバーグをいただきました。2月2日給食の時にみんなで食べました。

「これ清水でつくったハンバーグ!?!」「とっ

てもおいしい」「このハンバーグ大好き」と美味しそうに食べていた子ども達でした!!



清水産の味を堪能できて子ども達にはとっても良い経験になりました。お礼



にひまわり組さんが代表して、ひまわりのペンダントを渡しました。

御影こども園 いつも ありがとう！

3月20日御影こども園では、卒園式を行いました。



保護者の前で感謝の気持ちを伝えたり、『大きくなったら』『小学校へ行ったら』など抱負を発表したり、1年間を振り返ったりして、一人一人の成長を会場みなでお祝いをしました。

その中で、清水商工会青年部様からノートとかえるのキーホルダーを、清水高校様からはたくさんのペチュニアをいただきました。

例年いただいております、地域の方々からのお祝いの気持ちや見守られている事を感じ、子ども達も喜んでいました。

いつも、あたたかな気持ちをありがとうございます！



清水小学校

サホロスキー場でのスキー学習

2月 13 日清水町スキー連盟の方、保護者のボランティアの方に協力いただき、6年生がスキー学習を行いました。

今年はサホロスキー場を利用し、初めてスキーを履く子どもからパラレルで滑ることができる子どもまで、レベルに合わせたコースで練習することができました。

清水スキー連盟の方6名、保護者のボランティアの方5名に協力いただき、ブーツを履くお手伝い、上手に滑ったり止まったりするための指導、ケガなく安心して滑るための見守り等を行っていただきました。



子どもたちは、「すごく楽しかった!」「今度は山の上まで行ってみたい」など、滑ることができるようになった実感を味わうとともに、冬のスポーツを楽しむことができました。

次年度は5・6年生がスキー学習を行う予定です。今後も、季節を楽しむとともに、自身の成長を実感できる教育を、清水小学校は様々な場面で展開していきます。

御影小学校

「スケートリンク造成」



保護者や地域の方々の学校教育活動へのご理解やご協力のもと、御影小学校の子どもたちは充実した授業や活動を行っています。

御影小学校の保護者が中心となって、御影公園のグラウンドに 400mのスケートリンクを造成しております。

1 1 月にスケートリンク造成会の協力員を募り、その後1 2 月にスケートリンク造成会の総会を開

き、スケートリンクの造成を始めました。

12月の大雪で土台が踏み固められた後は毎晩遅くまで散水を行い、1月3日に立派なスケートリンクをオープンしました。

スケートリンクの造成後は、御影小学校の全家庭を割り振り、維持散水作業を行いました。

今年は気温が低い日が続き、夜間の散水作業がはかどったことはもちろん、日中も氷点下の日が多かったため、スケート授業の間も氷が解けず、非常にいい氷が維持できました。

2月14日にクローズし、例年よりも長い期間スケートリンクを開放することができ、体育の授業や放課後・休日の開放など、子どもたちは思う存分スケートを楽しんでいました。

「ウィンタースポーツ体験教室 6年」

ウィンタースポーツ体験教室（スキー）を、参加対象となる6年生の児童の保護者が有志の会を立ち上げ、保護者が主体となって実施しています。

今年は10名の保護者が有志の会のメンバーとなり、2月26日にサホロスキー場で行いました。

清水スキー連盟からの指導者に加え、有志の会からもスキー指導補助についたり、またスキー場でのリフト券やレンタルスキーの受け渡しをしたりするなどしております。

お陰さまで、子どもたちは安全にスキーを体験することができ、また6年生にとっては小学校生活のよい思い出となりました。



清水中学校

1学年 家庭科 調理実習 清水産米使用



2月26日～27日に1学年家庭科の授業において、清水町御影で陸稲を作っている澤山あずさ氏を外部講師にお迎えし、調理実習の授業を行いました。

お米は無償で提供していただき、清水産のお米（陸穂）についてお話をいただきました。

生徒は、清水町で作られるお米について

興味をもって学ぶことができ、その後、みんなで協力してお米を炊き、十勝若牛の牛肉をのせ、牛丼としておいしくいただきました。

「地産地消」について深く学ぶことができました。



御影中学校

「認知症サポート講座」「薬物乱用防止教室」

3月5日に地域の清水旭山学園せせらぎ荘より講師をお招きし「認知症サポート講座」を、3月10日には新得警察署の方を講師に迎えて「薬物乱用防止教室」を、今年度も3年生を対象に実施しました。

認知症サポート講座では、清水御影地域にも認知症の方がいらっしゃることや、実際にどのように接していけばよいのかを学び、貴重な時間となりました。

正しい知識を得たことで、「今後の地域活動にも生かしていきたい」と考える生徒も多く見られました。



【認知症サポート講座】

薬物乱用防止教室では、「つらい状況でも、正しい判断を失わずに断ることが大切だと感じた」などの感想が寄せられ、薬物乱用の危険性について改めて理解を深める機会となりました。

全ての生徒が「危険ドラッグには絶対に手を出さない」という強い決意を持つことができました。



CS 委員会

学校と地域との意見交換を実施

本年度の第3回清水・御影 CS(コミュニティースクール)委員会が、2月25日御影公民館を会場に合同で開催されました。



CS 委員会は、地域とともにある学校づくりのための学校運営協議会制度に基づくもので、清水町では7年目となります。

まず各こども園長及び学校長から「教育のデザイン(診断編)」を基に各こども園や学校経営の取組結果として、児童生徒や保護者及び職員・教職員からのアンケートの

考察結果の説明がされました。

続いて、委員の意見交換として、「どのような子どもに育ててほしいか」「そのために大人はどうすべきか」「その他委員として普段考えておられること」をテーマに熱心に熟議したところです。



現在、取り組んでいます「十勝清水学」の充実、子ども同士で学び合うことにより人間関係を育んでいくことの重要性、大人がやりすぎるのではなくじっくり子どもの意見を聞いてあげることやスマホの危険性を伝えるだけではなく次のアクションにつなげてあげることが大人の役割であろう、また、食を通してのウェルビーイング(幸福度や満足度を高め充実させる)として親子関係に工夫を加えることが必要など様々な意見が出されました。

